鼠径ヘルニア
腹腔鏡下手術

―手術が唯一の治療法―

副院長
西山 徹医師
日本内視鏡外科学会技術認定医

●鼠形ヘルニアとは

太ももの付け根を医学的に鼠径部と呼びます。ヘルニアの語源は、ラテン語で「飛び出す」という意味です。鼠径ヘルニアは太ももの付け根から内臓（主に小腸）が脱出してくる病気で一般的には脱腸と呼ばれています。鼠径ヘルニアはお腹の中の組織が出てくる場所（穴）の違いで、次の３つのタイプに分かれます。

1） 外鼠径ヘルニア・・・・・・・・・・・・・・・・ 鼠径ヘルニアで一番多い。
2） 内鼠径ヘルニア・・・・・・・・・・・・・・・・ 高齢者に多くみられます。
3） 大腿ヘルニア・　中年以降の女性に多く陥頓する可能性が高いタイプです。

●症状は？

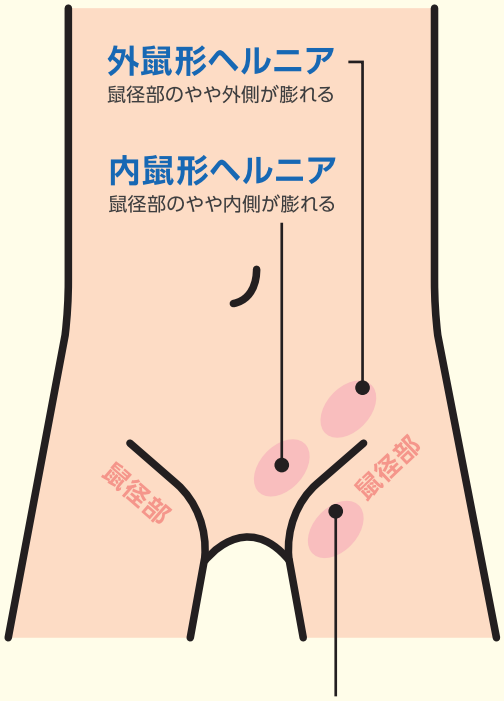
最初は鼠径部皮膚の軽度の腫れに始まり次第に違和感やつっぱり感を伴ってきますが、押さえたり仰向けに寝たりすると引っ込みます。放置しておくと腫れが急に硬くなったり押さえても引っ込まなくなり腹痛や嘔吐を伴うことがあります。これをヘルニアの嵌頓（カントン）といい、緊急で手術をしなければ脱出した腸が壊死して腸切除が必要になることもあります。放置すると腹膜炎併発の危険性もあります。

●治療方法は？

手術が唯一の治療法です。様々な手術方法があり各施設によりやり方が異なっているのが現状ですが、多くの施設で再発率の観点から人工の膜（メッシュ）を用いた方法が現在主流となっています。

当院では12mm、5mm、5mmの小切開３か所でお腹の中にカメラ（腹腔鏡）を入れヘルニアの場所を正確に確認し、確実に修復できる腹腔鏡下ヘルニア修復術を基本に手術方法を選択しております。再発率も低く手術後の疼痛も軽度で傷口も目立たない手術方法です。平均入院期間は５日前後です。

鼠径ヘルニアの種類

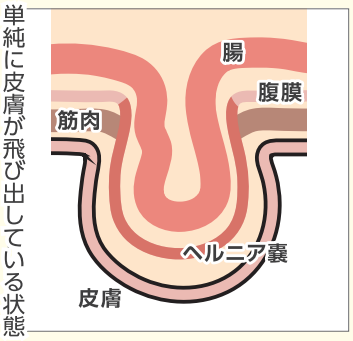


大腿ヘルニア
鼠径部の下の太ももが膨らむ。女性に多い

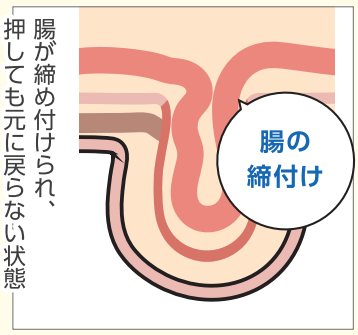
嵌頓鼠径ヘルニアについて

嵌頓鼠径ヘルニアとは、飛び出した臓器が狭い場所で締め付けられ、血流が悪くなっている状態です。

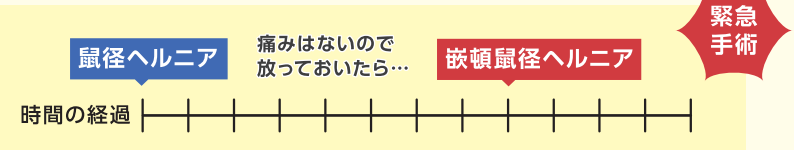
●鼠径ヘルニア



●嵌頓鼠径ヘルニア



嵌頓を起こすと、腸を切る緊急手術になる場合があります！
そのため早期の受診が必要です！



●腹腔鏡下手術は何処の病院でも受けれますか？

残念ながら、どの病院でも受けられるわけではありません。鼠径ヘルニア治療における腹腔鏡手術の全国普及率は5～6割程度だと推測されます。

また、腹腔鏡手術は、鏡視下で腹膜の切開と剥離、縫合を行うため、医師の経験しだいで手術時間も長くなります。このことが全国的な普及の遅れにつながっていると思います。但し、患者さん側のメリットが大きい手術でもあります。症状に気付いたら、陥頓してしまう前に手術内容含め、専門医に相談してみてください。

外科 西山Dr 外来

受付時間 13:30～17:00
診察時間 14:00～17:30

ヘルニアの種類・年齢・全身状態・既往歴などに応じ患者さんと御相談しながら最適な手術方法を選択していきます。初発例はもちろん再発例には腹腔鏡下手術が良い適応となります。症状にお心当たりの方はお気軽に御相談下さい。

	月	火	水	木	金	土
午前 診療時間 9:00～13:00	石井	四元 受付11：00まで	石井	石井	石井 受付10:30まで 西山 診療開始11:00から	四元
午後 診療時間 14:00～17:30	西山		西山 乳腺外科 受付16:00まで		四元	

笛吹中央病院
FUEFUKI CENTRAL HOSPITAL
TEL:055-262-2185 FAX:055-262-5985